

(12) 同和地区に関する差別意識がなくなる理由(問 17-1)

前問、差別意識が残っていると回答したものに対して、なぜ差別意識がなくなると思うかを聞いた結果をみると、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアが「高」グループでは、「昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」、「差別落書きやインターネット上での誹謗・中傷など、差別意識を助長する人がいるから」、「同和問題を解決するために行ってきたこれまでの同和対策の必要性が十分に理解されていないから」などをあげたものが多いのに対して、「中」、「低」グループでは「いわゆる“えせ同和行為”などを見聞きすることがあるから」、「運動団体による活動が、市民の共感を得られず、逆に反感を招いているから」、「いまでも同和地区の人だけ優遇されていると思うから」などがかなり大きな割合を占めている。また、「結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされるのを避けたいと思うから」は、どのグループも4割前後を占めている。【第37表】

『同和問題に関する差別意識がなくなる理由とは、なぜだと思いますか。』（問17-1）

【第37表 差別や差別に対する意識・態度スコア別 同和地区に対する差別意識がなくなる理由】(複数回答)

(上段:人、下段:%)

	い と 思 う か ら	結 婚 や 住 居 の 移 転 な ど に 際 し て 、 同 和 地 区 出 身 者 や そ の 関 係 者 と み な さ れ る こ と を 避 け た い と 思 う か ら	い る か ら	ぼ う (・ 中 傷 な ど) 、 差 別 意 識 を 助 長 す る 人 が い る か ら	差 別 落 書 き や イ ン タ ー ネ ッ ト 上 で の 誹 謗 (ひ ん じ や 中 傷 な ど) 、 差 別 意 識 を 助 長 す る 人 が い る か ら	同 和 問 題 を 口 実 に 不 当 な 利 益 等 を 要 求 す る 、 い わ ゆる 「 え せ 同 和 行 為 」 な ど を 見 聞 き す る こ と が あ る か ら	運 動 団 体 の 一 部 活 動 家 に よ る 不 祥 事 な ど が あ っ た か ら	祥 事 な ど が 大 き く 取 り 上 げ ら れ る こ と が あ る か ら	マ ス メ デ イ ア に よ っ て 、 同 和 問 題 に 関 わ る 不 祥 事 な ど が 大 き く 取 り 上 げ ら れ る こ と が あ る か ら	運 動 団 体 に よ る 活 動 が 、 市 民 の 共 感 を 得 ら れ ず 、 逆 に 反 感 を 招 い て い る か ら	な い か ら	同 和 問 題 を 解 決 す る た め に 行 っ て き た こ れ ま で の 同 和 対 策 の 必 要 性 が 十 分 に 理 解 さ れ て い る か ら	い ま で も 同 和 地 区 の 人 が 、 行 政 か ら 優 遇 さ れ て い る か ら	同 和 問 題 に 関 し て 積 極 的 に な く さ う と す る 方 向 と す る 人 が 増 え た か ら	同 和 問 題 に 関 し て 積 極 的 に な く さ う と す る 方 向 と す る 人 が 増 え た か ら	こ れ ま で の 教 育 ・ 啓 発 の 手 法 で は 、 差 別 意 識 を な く す こ と に 限 界 が あ る か ら	同 和 地 区 の 人 の 生 活 実 態 が 、 現 在 で も 困 難 な 状 況 に お か れ た ま ま だ か ら	差 別 を し て は い け な い と 規 制 す る 法 律 が な い か ら	昔 か ら の 偏 見 や 差 別 意 識 を 、 そ の ま ま 受 け 入 れ て し ま う 人 が 多 い か ら	そ の 他	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
高 N=127	46 36.2%	38 29.9%	41 32.3%	17 13.4%	17 13.4%	18 14.2%	37 29.1%	29 22.8%	20 15.7%	19 15.0%	8 6.3%	12 9.4%	84 66.1%	8 6.3%	4 3.1%	0 0.0%						
中 N=240	93 38.8%	39 16.3%	110 45.8%	49 20.4%	36 15.0%	59 24.6%	43 17.9%	98 40.8%	25 10.4%	42 17.5%	10 4.2%	23 9.6%	134 55.8%	12 5.0%	9 3.8%	2 0.8%						
低 N=108	45 41.7%	16 14.8%	63 58.3%	29 26.9%	23 21.3%	40 37.0%	8 7.4%	71 65.7%	11 10.2%	23 21.3%	3 2.8%	4 3.7%	49 45.4%	16 14.8%	3 2.8%	1 0.9%						
総計 N=475	184 38.7%	93 19.6%	214 45.1%	95 20.0%	76 16.0%	117 24.6%	88 18.5%	198 41.7%	56 11.8%	84 17.7%	21 4.4%	39 8.2%	267 56.2%	36 7.6%	16 3.4%	3 0.6%						

(13) 同和地区に対するイメージ(問 18)

同和地区に対する回答者のイメージ(問 18)について、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアが「高」グループほど、積極的な回答が比較的多くなっているのは、「親切で、人情味にあふれた人が多く住んでいる」、「同和地区の人が、地域外の人との交流に力を入れている」、「地域の学校において、広く人権問題に関する教育に取り組んでいる」の3点

で、かつ 3 つのグループの間の差は比較的小さいのに対して、「なにか問題が起こると、集団で行動することが多い」、「同和問題を口実に、いわゆる“えせ同和行為”で不当な利益等を要求する人がいる」、「いまでも行政から特別な扱いを受け、優遇されている」の 3 点については、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアが低いグループほど大きな割合を占めている。それ以外の項目についてはグループ間に有意な差は認められない。

【第 38 表】

『あなたご自身、現在、同和地区に対してどのようなイメージをお持ちですか。次の(1)～(11)のすべての項目についてお答えください。』(問18)

【第38表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 同和地区に対するイメージ】

(上段:人、下段:%)

		そう 思う	そ う 思 う か と い え ば	い ど ち ら と も い え な	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 答 ・
(1) 所得の低い人が多く住んでいる	高 N=157	11 7.0%	34 21.7%	42 26.8%	12 7.6%	50 31.8%	0 0.0%	8 5.1%
	中 N=368	28 7.6%	46 12.5%	95 25.8%	47 12.8%	113 30.7%	1 0.3%	38 10.3%
	低 N=148	13 8.8%	17 11.5%	48 32.4%	13 8.8%	47 31.8%	0 0.0%	10 6.8%
	総計 N=673	52 7.7%	97 14.4%	185 27.5%	72 10.7%	210 31.2%	1 0.1%	56 8.3%
(2) 親切で、人情味にあふれた人が多く住んでいる	高 N=157	9 5.7%	22 14.0%	98 62.4%	6 3.8%	12 7.6%	0 0.0%	10 6.4%
	中 N=368	12 3.3%	41 11.1%	182 49.5%	36 9.8%	54 14.7%	2 0.5%	41 11.1%
	低 N=148	4 2.7%	7 4.7%	80 54.1%	19 12.8%	30 20.3%	0 0.0%	8 5.4%
	総計 N=673	25 3.7%	70 10.4%	360 53.5%	61 9.1%	96 14.3%	2 0.3%	59 8.8%
(3) 同和地区外の人に対して、閉鎖的な意識を持った人が多い	高 N=157	18 11.5%	43 27.4%	53 33.8%	16 10.2%	17 10.8%	0 0.0%	10 6.4%
	中 N=368	34 9.2%	101 27.4%	121 32.9%	24 6.5%	47 12.8%	2 0.5%	39 10.6%
	低 N=148	29 19.6%	31 20.9%	58 39.2%	7 4.7%	14 9.5%	0 0.0%	9 6.1%
	総計 N=673	81 12.0%	175 26.0%	232 34.5%	47 7.0%	78 11.6%	2 0.3%	58 8.6%
(4) 地域社会(コミュニティ)の中での連帯意識を持った人が多い	高 N=157	28 17.8%	45 28.7%	58 36.9%	5 3.2%	9 5.7%	0 0.0%	12 7.6%
	中 N=368	34 9.2%	107 29.1%	128 34.8%	15 4.1%	39 10.6%	3 0.8%	42 11.4%
	低 N=148	39 26.4%	32 21.6%	48 32.4%	10 6.8%	10 6.8%	0 0.0%	9 6.1%
	総計 N=673	101 15.0%	184 27.3%	234 34.8%	30 4.5%	58 8.6%	3 0.4%	63 9.4%
(5) 人権問題について、意識の高い人が多い	高 N=157	21 13.4%	38 24.2%	72 45.9%	3 1.9%	12 7.6%	0 0.0%	11 7.0%
	中 N=368	37 10.1%	86 23.4%	134 36.4%	24 6.5%	42 11.4%	3 0.8%	42 11.4%
	低 N=148	30 20.3%	26 17.6%	58 39.2%	6 4.1%	19 12.8%	0 0.0%	9 6.1%
	総計 N=673	88 13.1%	150 22.3%	264 39.2%	33 4.9%	73 10.8%	3 0.4%	62 9.2%

		そう思う	どちらかといえば	いどちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	わからない	無不明 回答・
(6) なにか問題が起こると、集団で行動することが多い	高 N=157	26 16.6%	36 22.9%	56 35.7%	13 8.3%	16 10.2%	0 0.0%	10 6.4%
	中 N=368	79 21.5%	122 33.2%	81 22.0%	14 3.8%	34 9.2%	2 0.5%	36 9.8%
	低 N=148	49 33.1%	42 28.4%	38 25.7%	3 2.0%	9 6.1%	0 0.0%	7 4.7%
	総計 N=673	154 22.9%	200 29.7%	175 26.0%	30 4.5%	59 8.8%	2 0.3%	53 7.9%
(7) 同和地区では、高齢者や障がいのある人への生活支援など、同和問題以外の人権問題にも積極的な取り組みが進められている	高 N=157	17 10.8%	38 24.2%	75 47.8%	8 5.1%	7 4.5%	2 1.3%	10 6.4%
	中 N=368	33 9.0%	60 16.3%	171 46.5%	11 3.0%	43 11.7%	3 0.8%	47 12.8%
	低 N=148	18 12.2%	32 21.6%	64 43.2%	7 4.7%	19 12.8%	0 0.0%	8 5.4%
	総計 N=673	68 10.1%	130 19.3%	310 46.1%	26 3.9%	69 10.3%	5 0.7%	65 9.7%
(8) 同和問題を口実に、いわゆる「えせ同和行為」で不当な利益等を要求する人がいる	高 N=157	32 20.4%	45 28.7%	49 31.2%	7 4.5%	14 8.9%	1 0.6%	9 5.7%
	中 N=368	96 26.1%	93 25.3%	91 24.7%	6 1.6%	39 10.6%	2 0.5%	41 11.1%
	低 N=148	55 37.2%	47 31.8%	31 20.9%	1 0.7%	6 4.1%	0 0.0%	8 5.4%
	総計 N=673	183 27.2%	185 27.5%	171 25.4%	14 2.1%	59 8.8%	3 0.4%	58 8.6%
(9) 同和地区の人が、地域外の人との交流に力を入れている	高 N=157	11 7.0%	17 10.8%	97 61.8%	11 7.0%	9 5.7%	1 0.6%	11 7.0%
	中 N=368	9 2.4%	27 7.3%	189 51.4%	41 11.1%	54 14.7%	3 0.8%	45 12.2%
	低 N=148	1 0.7%	10 6.8%	81 54.7%	18 12.2%	29 19.6%	0 0.0%	9 6.1%
	総計 N=673	21 3.1%	54 8.0%	367 54.5%	70 10.4%	92 13.7%	4 0.6%	65 9.7%
(10) いまでも行政から特別な扱いを受け、優遇されている	高 N=157	17 10.8%	42 26.8%	58 36.9%	10 6.4%	20 12.7%	0 0.0%	10 6.4%
	中 N=368	86 23.4%	116 31.5%	95 25.8%	7 1.9%	24 6.5%	3 0.8%	37 10.1%
	低 N=148	63 42.6%	37 25.0%	32 21.6%	3 2.0%	5 3.4%	0 0.0%	8 5.4%
	総計 N=673	166 24.7%	195 29.0%	185 27.5%	20 3.0%	49 7.3%	3 0.4%	55 8.2%
(11) 地域の学校において、広く人権問題に関する教育に取り組んでいる	高 N=157	25 15.9%	39 24.8%	63 40.1%	8 5.1%	11 7.0%	2 1.3%	9 5.7%
	中 N=368	21 5.7%	66 17.9%	165 44.8%	24 6.5%	44 12.0%	3 0.8%	45 12.2%
	低 N=148	15 10.1%	28 18.9%	74 50.0%	6 4.1%	16 10.8%	0 0.0%	9 6.1%
	総計 N=673	61 9.1%	133 19.8%	302 44.9%	38 5.6%	71 10.5%	5 0.7%	63 9.4%

(14) 同和地区に対するイメージを持った理由(問 18-1)

同和地区や同和地区の人びとに対するイメージと関連して、上記のようなイメージをもった理由を聞いたが、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアとの間にはっきりした違いはみられない。これについては、それぞれのイメージごとにクロスしないと意味がないが、全体として、「とくに理由なし、単なるイメージ」などが多く、それぞれのイメージをもった理由としては、「高」グループでは「学校時代の学習経験や地域・職場での研修などから」がやや多いが、「低」グループでは「身近にいる人の話の内容などから」が多くな

っている。【第 39 表】

『あなたが問18の回答のようなイメージを持ったのはなぜですか。』（問18-1）

【第39表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 同和地区に対する差別意識に対するイメージを持った理由】

(上段:人、下段:%)

	く、単なるイメージ	自分の身近にいる人が話している内容などから	インターネット上の情報やメディアによる報道、書籍などの情報から	学校時代の学習経験や地域・職場での研修などから	地方公共団体や民間啓発団体などの啓発資料（広報誌やちらしなど）から	印象から	以前、同和地区に友人（知人）がおり、その話から	その他、自らの体験に基づいて	不明・無回答
高 N=157	69 43.9%	35 22.3%	32 20.4%	38 24.2%	12 7.6%	19 12.1%	19 12.1%	17 10.8%	12 7.6%
中 N=368	177 48.1%	94 25.5%	48 13.0%	55 14.9%	42 11.4%	47 12.8%	37 10.1%	15 4.1%	47 12.8%
低 N=148	45 30.4%	58 39.2%	28 18.9%	31 20.9%	13 8.8%	21 14.2%	24 16.2%	15 10.1%	14 9.5%
総計 N=673	291 43.2%	187 27.8%	108 16.0%	124 18.4%	67 10.0%	87 12.9%	80 11.9%	47 7.0%	73 10.8%

(15) 同和地区の人に対する就職差別の現状認識(問 19)

同和地区の人は就職するときに不利になることがあるかについて、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアとの関係を見ると、「しばしば不利になることがある」という回答は「高」グループで 19.7%とやや多いが、「たまに不利になることがある」については 3つのグループ間でほとんど差はみられない。【第 40 表】

『現在、同和地区の人は、就職するときに不利になることがあると思いますか。』（問19）

【第40表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 同和地区の人に対する就職差別の現状認識】

(上段:人、下段:%)

	なるばしばが不利に	たまに不利になる	不利になること	わからない	不明	しばしば、ある区	不明・無回答
高 N=157	31 19.7%	31 19.7%	15 9.6%	57 36.3%	18 11.5%	5 3.2%	
中 N=368	43 11.7%	69 18.8%	37 10.1%	152 41.3%	42 11.4%	25 6.8%	
低 N=148	20 13.5%	29 19.6%	19 12.8%	56 37.8%	16 10.8%	8 5.4%	
総計 N=673	94 14.0%	129 19.2%	71 10.5%	265 39.4%	76 11.3%	38 5.6%	

(16) 同和地区の人に対する就職差別の将来展望(問 19-1)

同和地区の人は就職するときに「不利になることがある」と回答したものに、その問題

は近い将来、なくすことができると思うかどうかを聞いた結果は、「完全になくせる」としたものは「高」グループが多くなっているほか、かなりなくすことができる」を合わせると、「高」グループ 72.5%、「中」グループ 59.7%、「低」グループ 43.0%となっており、逆に、「なくすのは難しい」ではその差がより顕著で、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアとは強い相関関係が認められる。【第 41 表】

『同和地区の人に対する就職差別は、近い将来、なくすことができると思いますか。』（問19-1）
【第41表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 同和地区の人に対する就職差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

	る完全になくせる	ことかなりできなくす	しなくすのは難	無不明答・
高 N=80	8 10.0%	50 62.5%	22 27.5%	0 0.0%
中 N=154	4 2.6%	88 57.1%	62 40.3%	0 0.0%
低 N=65	1 1.5%	27 41.5%	37 56.9%	0 0.0%
総計 N=299	13 4.3%	165 55.2%	121 40.5%	0 0.0%

(17) 同和地区の人に対する結婚差別の現状認識(問 20)

現在、同和地区の人は結婚する際に反対されることがあると思うかについて聞いたが、「しばしば反対される」は「低」グループでやや多いが「たまに反対される」を合わせると差別や差別の解決に関する意識・態度スコアによる差は殆ど認められない。【第 42 表】

『現在、同和地区の人は、結婚する際に相手の親族等に反対されることがあると思いますか。』（問20）
【第42表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 同和地区の人に対する結婚差別の現状認識】

(上段:人、下段:%)

	れしばしば反対さ	るたまに反対さ	は反対されること	わからぬ	分いはばたまに、ある	無不明答・
高 N=157	38 24.2%	50 31.8%	6 3.8%	38 24.2%	18 11.5%	7 4.5%
中 N=368	82 22.3%	99 26.9%	16 4.3%	108 29.3%	32 8.7%	31 8.4%
低 N=148	46 31.1%	38 25.7%	6 4.1%	35 23.6%	12 8.1%	11 7.4%
総計 N=673	166 24.7%	187 27.8%	28 4.2%	181 26.9%	62 9.2%	49 7.3%

(18) 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望(問 20-1)

同和地区の人に対する結婚差別があると回答したものに、その問題は近い将来なくすことができると思うかをきいたが、「高」グループでは「完全になくせる」と「かなりなくすことができる」の合計が 62.3%あるが、「中」グループでは 52.6%、「低」グループでは 39.6%にとどまっており、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアとはかなり相関している。

【第 43 表】

同和地区の人に対する結婚差別は、近い将来、なくすことができると思いますか。(問20-1)

【第43表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

	完全に なく せる	と か な り で き な く す こ	い な く す の は 難 し	無 不 回 明 答 ・
高 N=106	7 6.6%	59 55.7%	40 37.7%	0 0.0%
中 N=213	11 5.2%	101 47.4%	100 46.9%	1 0.5%
低 N=96	3 3.1%	35 36.5%	58 60.4%	0 0.0%
総計 N=415	21 5.1%	195 47.0%	198 47.7%	1 0.2%

(19) 差別的な発言に対する態度(問 21)

学校や職場、日常生活のなかで、差別発言にであったときの態度について、差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別にみると、「高」グループでは、16.6%が「差別的な発言があったことを指摘し、差別について話し合う」と回答しているのに対して、「中」グループでは 8.4%、「低」グループは 5.4%しかなく、「表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする」と回答したのも差別や差別の解決に関する意識・態度スコアが「高」グループほど大きな割合を占めているのに対して、「何もせずに黙っている」、「表向き話をあわせて相づちを打ったり、自分も差別的な言葉を口にしたりしてしまう」はスコアが低いグループほど多く、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアとの間に明確な相関関係が認められる。【第 44 表】

(21) 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた相手(問 22-1)

同和地区や同和対策についての話をきいたことがあるものに、その情報源を聞いた結果をみると、「低」グループでの「家族」、「職場の人」が若干多くなっているが、傾向はほとんど変わらない。【第 46 表】

『「同和地区の人はこわい」とか、あるいは「同和対策は不公平だ」というような話を聞いたことがある場合、それは誰からですか。』（問22-1）

【第46表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた相手】

(上段: 人、下段: %)

	家族	親戚	近所の人	友だち	職場の人	学校の先生	職員や市町村の	知らない人	その他
高 N=91	25 27.5%	12 13.2%	29 31.9%	36 39.6%	23 25.3%	1 1.1%	2 2.2%	7 7.7%	7 7.7%
中 N=225	51 22.7%	26 11.6%	76 33.8%	87 38.7%	65 28.9%	6 2.7%	8 3.6%	16 7.1%	20 8.9%
低 N=99	31 31.3%	13 13.1%	27 27.3%	36 36.4%	39 39.4%	3 3.0%	1 1.0%	6 6.1%	10 10.1%
合計 N=415	107 25.8%	51 12.3%	132 31.8%	159 38.3%	127 30.6%	10 2.4%	11 2.7%	29 7.0%	37 8.9%

(22) 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた時の感想(問 22-2)

同じく、「同和地区の人はこわい」とか「同和対策は不公平だ」という話をきいたときにどう感じたか(問 22-2)について、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアとの関係を見ると、「そのとおりに思った」と回答したものは、「高」グループの 18.7%に対して、「低」グループでは 35.4%を占めている。他方、「反発・疑問を感じた」とするものは、逆に、「中」や「低」グループでは 10%弱しかないが、「高」グループでは 23.1%あるなど、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアとは明確な相関を示している。【第 47 表】

『「同和地区の人はこわい」等の話を聞いたとき、どう感じましたか。』（問22-2）

【第47表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた時の感想】

(上段: 人、下段: %)

	そのとおりに 思った	そのうちかと思 うかと思 つた	反発・ 疑問を 感じた	なにか つた 何も 思わ ない	不明 回答
高 N=91	17 18.7%	48 52.7%	21 23.1%	5 5.5%	0 0.0%
中 N=225	46 20.4%	133 59.1%	22 9.8%	21 9.3%	3 1.3%
低 N=99	35 35.4%	45 45.5%	8 8.1%	9 9.1%	2 2.0%
総計 N=415	98 23.6%	226 54.5%	51 12.3%	35 8.4%	5 1.2%

